

# 人財戦略 CHROメッセージ



CHRO : Chief Human Resource Officer

## 価値創造と Well-being を目指して

りそなグループは発足以来、変革への挑戦を続けてきました。「銀行の常識は世間の非常識」と宣言し、様々な変革に挑み続け、お客さまや地域社会のこまりごと解決に取り組んでいます。そして新中計では、りそなグループ自体、「再生」から「新たな挑戦」のステージへ、CXに取り組んでいきます。

変革への挑戦を続けていくためには、多様な価値観を持った人財が集い、自由闊達に意見を出し合えることが必

## 人に勧めたくなる職場：エンゲージメント

従業員が生き活きと活躍できる職場づくりは Well-being の実現に欠かせない要素であり、価値創造のための最大の推進力です。

毎年全従業員を対象に実施している意識調査では、職場の風通しに関する肯定的回答割合は上昇傾向にあり、約8割に達するなど良好な水準となっています。フリーコメントにおいてもエンゲージメントの向上を示す意見が数多く寄せられています。

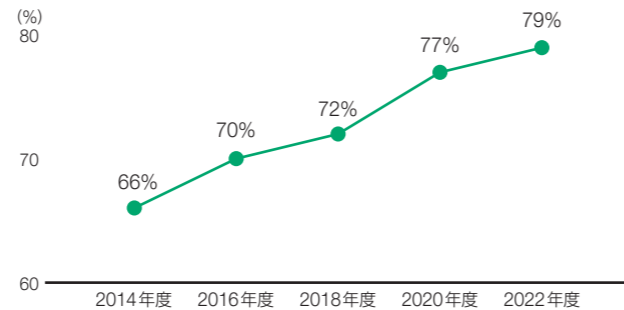
今後もライフイベントに応じた柔軟な働き方、自律的なキャリア形成、仕事に対する納得感のある処遇など多様なニーズに耳を傾け、きめ細かく施策を展開していきます。そして一人でも多くの従業員が「りそなグループで働いて良かった」、「りそなグループで働くことを他の人にも

要です。そのため私たちはダイバーシティ&インクルージョンの考え方をいち早く人事制度に取り入れ、性別・年齢・職種などにかかわらず多様な人財が持てる力を最大限に発揮できる環境を整えてきました。もちろん過去から築いてきた信用・信頼の基盤である高い倫理観（インテグリティ）は当グループが「良き企業」として持続的発展を遂げるために欠かすことはできません。これらの「変革への挑戦」、「ダイバーシティ&インクルージョン」、「インテグリティ」は変わることのない土台、組織風土であり、今後も大切にしていきたいと思います。

他方で、当グループを取り巻く事業環境や働き手の就業価値観は大きく変化しています。こうした変化を踏まえ、会社と従業員が対等な関係に立ち、グループの価値創造と従業員の Well-being 双方を実現することを目指すため、人事運営の進んでいくべき大きな方向性を「人財戦略」として整理しました（▶P66）。変化の激しい時代、確信を持って見通せる未来はありませんが、どのような時代になろうともお客さま・地域社会に向けて価値創造を果たしていく起点は「人財」です。「人財」は当グループにとって、最も重要な財産です。今般定めた「金融+で、未来をプラスに。」というパーパスのもとに集う人財がこれまで大切にしてきた組織風土をもとに共鳴し合うことで、お客さま・社会への価値創造と従業員自身の Well-being を実現していくことを目指していきます。

勧めたい」と心から思えるようなグループとなることを目指していきます。

職場の風通し：肯定回答割合



あなたの職場は、上司や部下、同僚といつでも気軽に報告・連絡・相談ができ、伝えたいことを相互に伝えられる「風通しの良い職場」であると思いますか。

## 多様な専門性：プロフェッショナル

お客さまや地域社会に寄り添い、最適なソリューション（価値創造）を提供し続けていくためには、従業員の成長が欠かせません。従業員にとっても成長を通じたお客さまや地域社会への貢献は自己実現 (Well-being) につながります。

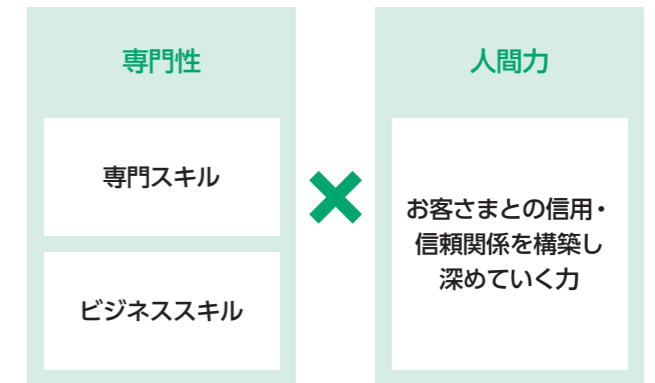
りそなグループでは、「お客さまの課題を解決し、より大きな喜びをもたらせるだけの専門性と人間力を兼ね備えた人財」を「プロフェッショナル人財」と考えており、すべての従業員がそれぞれの持ち場でプロフェッショナル人財となることを目指しています。

これまで複線型の人事制度の導入や自律的なキャリア形成のサポート、人財育成体系の整備などによりプロフェッショナル人財の育成に力を入れてきました。

これからも全員プロフェッショナル人財を目指し、これまでの取り組みを見直し・強化することにより、従業員の成長スピードの加速と自己実現に向けたサポートに取り組んでいきます。

### 「プロフェッショナル人財」

各業務分野において、お客さまの課題を解決し、より大きな喜びをもたらせるだけの専門性と人間力を兼ね備えた人財



## 従業員一人ひとりの金融+／越境・異文化経験：共創

高度化・複雑化するこまりごとを解決していくためには、従来の金融サービスの枠にとらわれない発想や視点が必要で、こまりごとに寄り添う従業員には金融の枠にとらわれない「従業員一人ひとりの金融+」を身につけてもらうために、「個人の壁」「会社の壁」「文化の壁」を超える越境・異文化経験を積極的に推進していきます。具体的には、優れた知見やスキル・ノウハウを持つ異業種人財や外部専門家との共創の機会をさらに拡大していくことも

に、グループ内でも複数のエンティティでの勤務経験を促す人財交流をこれまで以上に拡充していきます。また、キャリア採用も拡充し、社内における多様性も推進していきます。このような取り組みにより、社内での経験だけでは得られなかった新たな視点を獲得し（従業員一人ひとりの金融+）、お客さまや地域社会の未来、そして従業員一人ひとりの未来へのプラスを実現してほしいと思います。

## 多様な内外のパートナーが共鳴し合い、豊かな未来をつくる

今般発表した中期経営計画では、中計期間累計+330億円の人財投資を行うことを宣言しました。人財投資は、処遇向上、人財育成や採用強化にも取り組むものです。人財投資の拡充により、従業員の行動変容が促され、プロフェッショナルとしての成長につながり、そして、りそなグループの持続的成長（価値創造）と従業員の仕事と生活両面が充実 (Well-being) し、結果としてさらなる人財投資に

結びつく、こうした好循環を目指します。

生き活きと働くことができる環境のもと、多様なプロフェッショナル人財が社内外のパートナーと共鳴することで金融+の価値を創造し、すべてのステークホルダーにとっての豊かな未来が広がっていくことを目指してこれからも挑戦への歩みを進めていきます。